

そして最近の社会的現代病にもなっているストレス性症候群や慢性疲労感、小・中・高校生（特に女子）の間で頻発している脊柱側弯症（背骨が曲がる、姿勢が悪くなる）や若年性肩こり、背・腰痛・疲労感等はやはり日常生活での背骨のズレが原因していることがほとんどです。

他に多発している交通事故によるムチ打ち症（ムチ打ち外傷）があり頸椎を捻挫することにより頸・肩周辺の筋組織の炎症（各周辺部の痛み、頸が回らない等の症状）及び頸椎の亜脱臼（ズレ）を起します。

ギックリ腰・腰痛も腰椎捻挫を起し腰椎亜脱臼が生じていれば同様です。

◆背骨がズレるとなぜ症状が出現するの？：

亜脱臼（ズレ）を起した部位では脊柱の中を走っている神経や血管を直接椎骨が圧迫し、疎外が生じる結果になり、神経が興奮か抑制のいずれかに片よった自律神経の失調が発生し色々な症状（痛み・しびれ・だるさ等）が出現してくるという訳です。（故：北川氏説明文より）

◆治療の方法や流れなど...：

・方法

*脊柱（頸椎～上部・中部・下部、胸椎、腰椎、仙骨）、骨盤等の手技矯正（ズレのある場合は治します）を行います。

*頸部、肩部、背～腰部、下腿部及び必要に応じ上肢の筋肉・腱等の緊張（コリ等）緩和を手技にて行います。

また運動療法にて関節の運動も行います。

*温熱療法＝御電法や電療法を行います。

*治療の前・後にカウンセリング・コンサルテーション（問診、視診、触診、相談、指示など）を行います。

*必要に応じて別途カウンセリングを行います

・流れ

1.受付（問診票を書いて頂きます）します。

2その後問診・カウンセリングを行い、着替えて頂きます。

3.施術を行なう前によく温めます。（温熱療法・温電法）

4.いよいよ施術治療です。

視診・触診をしながら、背中～足～腰～頸～肩というように全体を考慮しながら行い最後に電療法です。

5.着替え後詳しい説明＝症状、注意等行います（コンサルテーション）

（最初は待ち時間を入れないで約40～50分位はかかります）

6.＝その他＝

特に悪い部分の治療を部分的（オプションとして別料金）に行う事もあります。

◆施術後の進め方は...：

施術・治療方法、通院間隔、病状、日常の諸注意、運動療法等は個人差がありますので、必ず初回の治療後にわかりやすく説明いたします。通院間隔は1～2日おき、回復に合わせ4～7日おき、更に2週間～1ヵ月～3ヵ月と言う具合に少しずつ開けて行きます。

これは皆さんが思うほど筋肉、組織の治りは良くありません。中途半端に痛みだけ取れて他が治っていないと必ず又出現します。

特に施術治療回復が思うように進まない患者さんに共通していることがあります。

病歴が古く、慢性化しているもの（患部が凝り固まっている）

初診時より痛みが強いもの（筋肉・神経の炎症が強い急性期のもの）

いろいろな治療を受けすぎて慢性化してしまったもの

等があり、いずれも患部の組織（筋肉・靭帯・神経）の硬化が激しかったり血流が悪い事などが自己回復を妨げています。

早期に回復するためには患者さんと私共の協力が望ましいですから、話し合いながら回復に向けて行きましょう。

そして判らないことは何でも聞いて相談してください。多少関係ない事でもいいですからね....

* 矯正法の一部



腰部捻り矯正法



頸部捻り矯正法



脚の長さ～骨盤矯正法